

上越市まち・ひと・しごと創生推進協議会合同部会の開催について（案）

1 令和3年度情報交換会（5月20日開催）における意見等

- ・ 女性の育児休業の取得は進んでいるが、男性はまだまだだと感じている。
- ・ 女性は育児休業から復帰すると男性並みの仕事量を求められ、育児とのバランスが取れず、悩みを抱えてしまう人がいる。
- ・ 育児休業制度はあるが、男性はほとんど使っていないというのが実態。
- ・ 子どもが熱を出したなどの理由で、従業員が急に休まなければならなくなると、全体の仕事に支障が出てしまうため、経営者としては困るというのが本音。
- ・ ワーク・ライフ・バランスを実現させたいという思いは経営者としてもあるが、現実はいまうまくいかない部分がある。

	課題	考えられる原因、解決策（例）
1	男性がほとんど育休を取得していない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長時間労働により、早く帰宅することができない。 ・ 属人的な業務が多く、まとまった期間を休めない。
2	復帰後の仕事量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人とのコミュニケーションや周囲の社員への働きかけが十分ではない。
3	現実的に急に休まれると困る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同で託児所や病児保育室を運営する。

2 令和4年度の取組について

【方向性】

合同部会を開催し、先進事例を学びながら、具体的な取組を複数検討し、できるものから各社で取り入れていくことで、民間におけるワーク・ライフ・バランスの推進の強化を図る。

【スケジュール（予定）】

時期	主な内容
6月中旬	（第1回合同部会） ・ 先進事例を学ぶ（女性活躍の推進、ワーク・ライフ・バランスの推進など） ※部会は参加希望制とする
6月中旬～下旬	参加団体を対象に、ワーク・ライフ・バランスについて、「できそうな」取組（具体的な取組）を照会
7月上旬	（第2回合同部会） ・ 具体的な取組の提示・議論
7月中旬～下旬	（第3回合同部会） ・ 具体的な取組（修正案）の議論⇒確定（各社で随時取組を開始）
10月	（必要に応じて）予算化